

N C制御による新鋭高精度高速機導入に伴う 高効率生産体制の構築と省エネ工法の試作開発

Market ～市場環境～

～ 日本最古の道からはじまる交通要所の地 奈良 ～

奈良県は日本最古の道といわれる「山の辺の道(やまのべのみち)」をはじめ、世界遺産である「熊野参詣道小辺路(くまのさんけいみちこへち)」といった古道が存在しており、古来より交通の要所となっている。

現在も大阪・京都等の都市圏に近いことから、産業における輸送面においてもアクセスの良い立地環境として今に至っており、「京奈和自動車道」の近くに立地している当社も、その利便性を享受している。

Products

～取扱商品～

創業より培った豊富な経験と技術を生かし、最良の品質の製品を提供する 藤田鉄工株式会社

鉄骨の製品には、精巧な技術と厳密な管理体制が要求される。当社では、各工程ごとに熟練した技術者と最新鋭の機械を配備し、徹底した品質管理を行っており、クライアントからも高い信頼を得ている。

【 打ち合わせ・作図 】



【 柱加工 】



【 梁加工 】



BackGround

～事業化にいたる経緯・背景～

【 増勢傾向にある建築鉄骨需要への対応 】

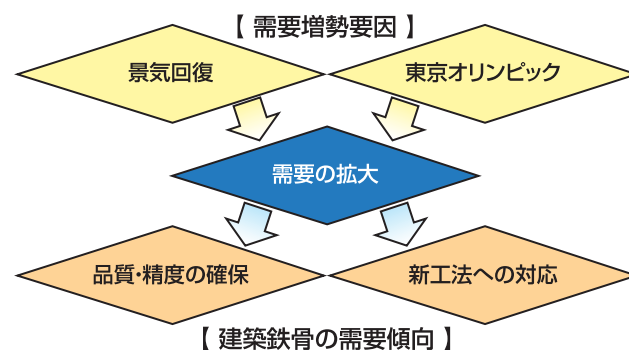
建築鉄骨は、景気回復・東京オリンピックも控え、需要が増勢傾向にあり、その受注量拡大に向けた生産性向上が大きな課題となっている。

【 品質・精度の確保、新工法への対応 】

震災の経験をふまえた建築技術研究の進展にともない、主要構造体である建築鉄骨については今まで以上の品質・精度の確保・新工法への対応等が求められている。

【 開先加工・プレートショットブラスト工程能力拡大による、工程の短縮・標準化・新工法への対応へ 】

当社は、前回採択いただいた「平成25年度補正ものづくり補助金」事業で、生産性向上に取り組み、目標の成果が得られているが、更なる受注量拡大と品質向上に向けて、「開先加工機」「プレート用ショットブラスト設備」を導入し、工程の短縮・標準化をはかるとともに、新工法への対応を行う。



藤田鉄工 株式会社

■ 設立 昭和44年10月21日 ■ 所属団体 奈良県鉄構建設業協同組合

■ 事業内容 鋼構造物工事業、建築工事業

■ 本社所在地 奈良県橿原市曲川町6丁目18番1号

■ URL <http://www.fujita-tekkou.co.jp>

■ 資本金 1,000万円

■ 従業員数 20名

■ TEL 0744-23-6212

■ E-MAIL fuji1969@minos.ocn.ne.jp



■代表者 代表取締役 藤田 定俊

当社は、小さな倉庫から数多くの大型公共施設、ビル、工場、駅舎、耐震補強等幅広い需要に対応し、「当社より、不良品・不適格品は出さない。それが仕事人の使命である。」をモットーに邁進し、多大なる信頼を築いてまいりました。これからも創業以来の豊富な経験を生かし、最良の品質を提供し、社会の発展に貢献して行きたいと思っております。

Contents

～事業の概要・成果～

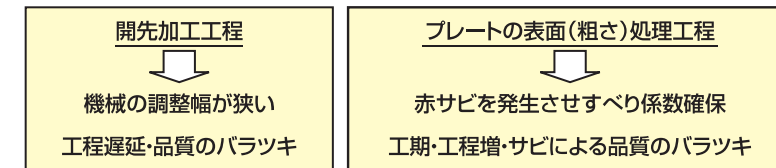
- 開先加工機、プレートショットブラスト設備導入による処理能力向上と納期短縮の実現
- 新工法に対応できる製品の試作開発・プレートの表面処理を最適化する手法の開発

ボトルネック工程となっていた開先加工とプレートショットブラスト工程の設備を新設し、想定していた品質・処理能力を確保できることを確認。工場全体の処理能力向上と納期短縮を実現できた。

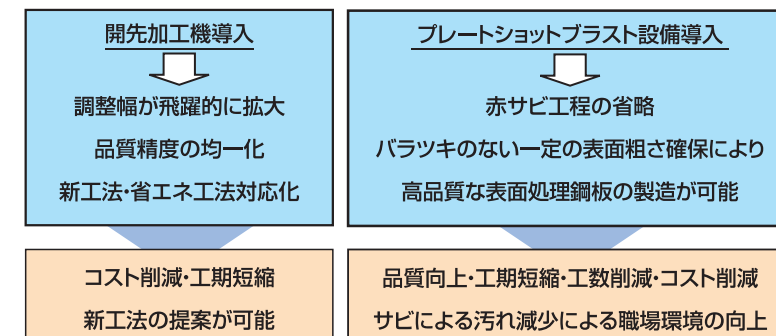
開先加工においてノンスラップ工法等の新工法に対応しうる形状の開先を機械加工できるようになり、生産性が向上。これによりノンスラップ工法等を積極的に顧客に対して提案することが可能となった。

ショットブラストにおいてはプレートの表面処理を最適化する手法を開発することで、より高品質な表面処理鋼板の製造が可能になった。

【 当社のボトルネック 】



【 当該事業開始 】



Task

～事業化における課題～

課題 生産能力向上の為に人材育成

増勢傾向である建築業界の需要に対応するためには、生産能力の向上と共に機器を扱う人材育成が重要となっている。人材育成には、ベテランのノウハウの伝承と新鋭機器の習熟が必要。一朝一夕では成り立たない為、当社だけでなく業界全体での問題となっている。



Solution

～解決への道筋～

施策 若年層への技能伝承・技術蓄積の共有化とCAD技術(BIM)の習熟

若年層を主要工程に配置することにより社内の技能伝承・技術蓄積をスムーズに行い、またCAD(BIM)を導入・活用することで先端技術の習熟を促し、機器だけでなく人材の視点からも生産能力の向上を行っている。



BIMとは

コンピューター上に現実と同じ建物の立体モデルを再現して、よりよい建物づくりに活用していく仕組み。

Future

～今後の事業スケジュール～

- 鉄骨加工のオールインワン体制を基軸とし、引き続き地元工務店・ゼネコン・商社に対する営業活動を強化することで更なる売上拡大を目指す。
- 既存の取引先に対する従来工法の製品 売上目標 初年度 1,500万円 5年目 1,600万円
- 既存の取引先に対する新工法の製品 売上目標 初年度 300万円 5年目 700万円